

普段の一日を参観

6月13日、町内5つの小中学校で一斉に学校公開が行われました。朝の活動から放課後の部活動まですべてが公開され、授業だけでなく休憩時間や掃除の時間なども見ることができ、約8000人が、普段の授業の進め方や児童・生徒の様子などを参観しました。

法勝寺中学校の公開に参加した女性は「静かで真面目に授業を受けていると思いました。次の公開日にも参加します」と感想を話されました。学校公開は10月6日にも予定されており、バスツアーや給食試食会も行われる予定です。



児童と一緒に掃除をする参加者
(西伯小学校)

富有の里でほたるウォーク



赤井さんの解説を聞く参加者

あいみ富有の里地域振興協議会主催で、6月7日、ほたるウォークが開催され、県内外から67人が参加しました。

コースは農産物加工施設を5kmで、参加者は出発前に金田でほたるの里づくりに取り組んでいる、赤井厚生さんと井塚照雄さんに螢の生態などについて解説を受けました。家族4人で参加した女性は「金田地区の螢見物には2回ほど来たことがありますが、通ったことのない道を通して大変結構でした」と感想を話されました。

会見小学校に韓国から視察団

鳥取県教育委員会と韓国江原道教育庁の教育交流の一環として韓国江原道の教育関係者10人が鳥取県を訪れ、6月25日には教育現場として会見小学校を視察しました。

訪問団長の春川教育庁教育長の李鎬成さんは「見学を通じて韓国に会見小学校の長所を伝えていきたいと思います」と挨拶されました。

訪問団は、授業の様子を見学した後、岡田昌孫さん、永栄英夫さんの説明でコミュニケーション・スクールについて学び、活発に質問を行いました。



授業を視察する訪問団

とっとり花回廊で生き物観察



生き物を採取する参加者

6月28日、とっとり花回廊で南部町・伯耆町二町交流フェスティバルが開催され、さまざまな催しに約220人が参加しました。

園内のふるさとの古径で行われた生き物ウォッチングには親子連れ38人が参加し、自然観察指導員の桐原真希さんの説明を受けながら、生き物や植物などを観察しました。木のまわりなどではさまざまな生き物が発見でき、参加した子どもたちは網で採取しては自慢していました。観察の後、全員で手作りのそばを楽しみました。